

2014年度 年主題「あふれる愛-これからもともに-」

0・1・2歳児 4月主題 「だいじょうぶだよ」

月のねがい

- ◎自分が受け入れられていることを感じ、安心する
- ◎新しく出会った人やものに親しみをを感じる
- ◎保育者の姿を通して神さまと出会う

3・4・5歳児 4月主題 「安心して」

月のねがい

- ◎保護者や友だちに親しみをもつ
- ◎好きな遊びを見つけ、安心して過ごす
- ◎祈りを通して神さまと出会う



タイケン・タンケン・タイヘン

進級・入園おめでとうございます。こどもたちにとって、保育園や幼稚園の生活は、親元を離れて初めての集団生活となります。

お母さんのおなかの中から”おぎゃあ!”と生まれてきて、温かい腕の中でゆったりと生活してきた子どもたち。しかし、突然集団の中に”ポン”と置かれていくのですから、少々理不尽で、大きな試練の始まりでもあります。大好きなお母さんがいない、似たような歳の子たちがいて、なにやらお母さんではない大人の人に見られている…。そんな中で、椅子に座り、歌をうたったり、走り回って外遊びを楽しむ…。ということは、最初からできないのが当たり前です。できなくていいのです。まずは、”ここは家とは違う”ことに気づくことから始まるのだと思います。

それから少しずつ、先生、友だち、お庭、滑り台、公園、花々、虫たちに気づき、驚きや喜びを感じ始める…。そうならもう大丈夫です。子どもたちはどんどん遊び出します。いろんなことに興味を持ち”探検”したり、たくさん遊びや行事を”体験”できるようになります。時には、ちょっと”大変”なことも挑戦しようとする意欲がわいてきます。それこそが園生活の賜物です。

そのための大切なこと。朝登園するときには「いってらっしゃい!」、帰ってきたら「お帰りなさい」としっかり抱きしめてあげてください。ありのままの自分を受け入れ、いつも守ってくれるお父さんやお母さんが待っていてくれることが、最も平安を感じられる心の安全基地です。他の誰でもないありのままの自分を受け入れる。それらは、目には見えませんが、とても大切なことです。子どもたちが大人になったとき、この世の中を逞しく生きていくための力となっていくでしょう。子育ては、大きな責任が伴います。それ以上に喜びも与えられます。この大事なときを皆さんと共に楽しみながら園生活を創造してまいります。本年度もご協力をよろしくお願い致します。

副園長 園師 愛

今月の聖句

「わたしは、よみがえりです。いのちです。」 ヨハネ

11:25

春分の日が過ぎて、園の周りの木々が新芽を噴出しました。黄緑の葉はほのかな香りも放ち、とても癒されます。新しいいのちの息吹を感じます。

今月のことばはイエス・キリストの自己紹介とでもいうべき復活のことばです。イエス・キリストは人類のすべての重荷を一身に背負い、十字架に架かりました。そして、春分の日から数えて最初の満月に一番近い日曜日の早朝、墓に葬られて三日目に復活なさいました。今年4月20日の日曜日がその日にあたり、復活祭ともイースターともいいます。死人が蘇えることを信じるのはキリスト者であります。だれでも死のあとに復活する希望があれば、平安な日々を送れることでしょう。

百合は復活祭の花です。球根は冬の間は土に覆われていますが春が来ると芽を出し純白の大輪の花を咲かせます。球根(土に覆われている・葬られている)・発芽(復活)・開花(感謝と喜びの世界)を繰り返す百合のサイクルは人間の死と復活を表しています。復活があると思えば、失望しません。失敗しても何回でもやり直せます。わたしたちの肉のからだは滅びますが、からだに宿る霊は新しい命に蘇えり、先祖や世界の先輩たちと感謝と賛美の生活を迎えます。「一粒の麦、もし死なざれば…」もキリストの言葉です。パウロは復活への希望を「卑しい者で蒔かれ、栄光ある者に蘇えり、弱い者で蒔かれ、強い者に蘇えり、肉の体で蒔

4月の行事予定

8日(火)	始園式(午前保育)
12日(土)	第57回入園式
14~17日	新入園児午前保育
14日(月)	田植え(年長児)
18日(金)	交通安全教室
22・23日	ぎょう虫・尿検査 避難訓練

5月の行事予定

17日(土)	春の親子遠足 父母の会総会
8~16日	家庭訪問 内科検診・歯科検診 避難訓練

新入園の保護者の皆様へ

初めてお母さんと離れての新しい生活は、入園当時の幼児にとっては、とても大変なことです。幼児たちが慣れるまで1週間ほど、疲労を考慮して午前保育となります。帰宅しましたら、矢継ぎ早に園の様子を聞くのではなく、お子さんが落ち着いてから少しずつ聞いてください。分からないこと、不安に思うことがありましたら、気軽に職員に声をかけて、お子さんの様子などお聞きください。

また、睡眠も十分にとって、朝も、「いっばい遊んでおいでね!」と送り出してあげてください。お子さんの体調や心配事など遠慮なく、連絡帳や電話で担任にお知らせください。



4月の献立 青文字は保育園のみのメニューです。午前おやつメニューは0、1、2歳分です。

日	曜	内 容	午前おやつ	午後おやつ
1	火	白ご飯、ふりかけ、五目煮、酢の物、バナナ	牛乳、卵ボーロ	スキム、大学芋
2	水	白ご飯、鮭の塩焼き、大根サラダ、みそ汁、リンゴ	牛乳、クッキー	麦茶、スナック菓子
3	木	白ご飯、チンジャオロース、卵スープ、オレンジ	牛乳、ウエハース	スキム、ミルクもち
4	金	青菜ご飯、大豆とじゃこのかき揚げ、甘酢和え、みそ汁、ヨーグルト	牛乳、せんべい	スキム、お餅ケーキ
5	土	白ご飯、八宝菜、ツナ入り卵焼き、バナナ	牛乳、ビスケット	スキム、スナック菓子
7	月	白ご飯、豆腐ハンバーグ、浅漬け、きのこスープ、パイナップル	牛乳、パイ菓子	スキム、クッキー
8	火	白ご飯、ムニエル、ポテトサラダ、みそ汁、オレンジ	牛乳、サブレ	スキム、餃子皮ピザ
9	水	お弁当	牛乳、コーン菓子	麦茶、スナック菓子
10	木	牛乳、白ご飯、焼きそば、ピーナッツ和え、みそ汁、ゼリー	牛乳、卵ボーロ	スキム、イモ天
11	金	牛乳、白ご飯、筑前煮、炒り卵、りんご	牛乳、クッキー	スキム、バナッパケーキ
12	土	~~入園式~~	牛乳、ウエハース	ヤクルト、クロワッサン
14	月	牛乳、食パン、れんこんキンピラ、豆サラダ、肉団子スープ、みかん	牛乳、せんべい	スキム、にゅう麺
15	火	牛乳、カレーライス、コールスローサラダ、オレンジ	牛乳、ビスケット	スキム、じゃこトースト
16	水	白ご飯、ブリ大根、ゴマ和え、みそ汁、イチゴ	牛乳、パイ菓子	麦茶、野菜チップ
17	木	牛乳、白ご飯、南蛮漬、みそ汁、りんご	牛乳、サブレ	スキム、卵むしケーキ
18	金	牛乳、ひじきご飯、豚肉の味噌炒め、和え物、すまし汁、ヨーグルト	牛乳、コーン	スキム、フレンチトースト
19	土	白ご飯、あじの蒲焼き風、野菜スープ、オレンジ	牛乳、卵ボーロ	麦スナック茶、菓子
21	月	牛乳、食パン、イタリانسパ、コロコロサラダ、豚汁、バナナ	牛乳、クッキー	スキム、じゃが芋おやき
22	火	牛乳、白ご飯、炒鶏、ナムル、ミニカップゼリー	牛乳、ウエハース	スキム、野菜ケーキ
23	水	白ご飯、味噌煮、カボチャおかか和え、中華スープ、オレンジ	牛乳、せんべい	麦茶、バナナスナック菓子
24	木	牛乳、じゃこご飯、魚のピカタ、根菜のみそ汁、ミニトマト	牛乳、ビスケット	スキム、アツギキ
25	金	牛乳、白ご飯、チーズ入りコロッケ、せんきゃつ、ソーメンすまし汁、ヨーグルト	牛乳、パイ菓子	スキム、黒糖くずもち
26	土	白ご飯、ホイル焼き、和え物、みそ汁、りんご	牛乳、サブレ	竹輪、UFOパン
28	月	牛乳、食パン、シチュー、野菜サラダ、バナナ	牛乳、コーン菓子	スキム、きなこ団子
30	水	白ご飯、マーボー豆腐、キュウリとワカメの酢の物、フルーツ缶	牛乳、卵ボーロ	スキム、りんご

都合によりメニューが変わる場合があります。ご了承下さい。※0、1、2歳は月曜日白ご飯です。

二〇一四年度を迎えて

日替わりによつてくる春の嵐で迎える新年度。少々肌寒さを感じますが、新緑の香りを乗せた風が心地よく園庭に吹き渡ります。いよいよ四月を迎え、また新しい一年の歩みが始まります。ご入園・進級おめでとうございます。保護者の皆さまには、希望あふれる春を喜びの内にお過ごしのことと存じます。卒園生を送り出し、暫く寂しい思いをしておりますが、今年も愛らしい子どもたちとの出会いを与えられ、喜びと感謝でいっぱいです。

本年度のキリスト教保育における年主題は、『あふれる愛-これからもともに-』になりました。キリスト教保育の根幹は、幼児一人一人がかげがえのないものとして、ありのままに愛されていることを伝えていくことです。そして、いつも申し上げていますが、目に見えるものより、目に見えないものを大切にしていきたいと思っております。本学園の建学の精神である「敬神愛人」「探求・感謝」には、人間形成の基礎を培うべく心を育てたいという願いが込められています。遠い将来の準備ではなく、幼いときにこそ経験しなければならぬものがあるのではないのでしょうか。子どもたちが自分で発見するモノや動植物たち。考えながら創り出していく遊びの数々。不思議だと感じることも。明日もまたやりたいたいという意欲や探究心を何よりも私たちは守らなければなりません。そのために、保護者の皆さんにも、多くの場面で楽しんで関わっていただきたいと願っています。子どもの育ちには、「タイケン・タンケン(ちよと)タイヘン」が必要だと思っております。日々の保育や行事で味わう体験。未知の世界へ興味・関心を寄せる探検。そして、少し大変なことにも挑戦する意欲。この言葉をキャッチフレーズに、私たちが新しい制度へ向かってチャレンジしていきます。

集団生活を初めて経験する子どもたちにとって、園生活は期待と不安の混じったものでしょう。そのような中で、あるがままの自分が受け入れられ、大切にされていると感じる時、子どもたちの心は安定し、平安のうちに「生きる力」を発揮できると信じます。神さまに生かされて、「自分」をしっかりと生きていけるよう祈りつつ、保護者の皆様と共に心を込めて寄り添っていきたく考えております。五十七年目を迎える本年度も、職員一同心を尽くして努力して参りますので、ご支援の程を宜しくお願いいたします。

園長

